

安全な道路環境をめざして⑧

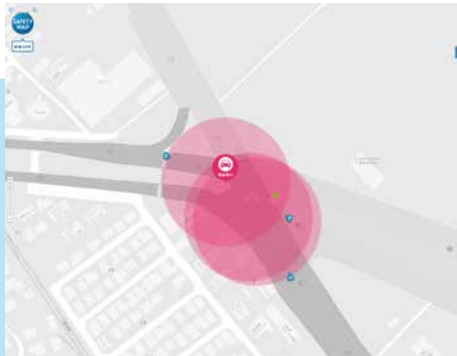
SAFETY FOCUS

道路改良によって 交通状況が大きく改善した交差点

「SAFETY FOCUS」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。その情報をもとに、当紙ではこれまで7カ所の交差点を取り上げ、事故防止や道路環境の改善に向けた提言を行ってきた。

このうち、福岡県北九州市の「バイパス朽綱」交差点(2014年8・9月号参照)、愛知県豊橋市の「豊川橋北」交差点(同12・1月号参照)で安全対策が実施された。今回は、この2カ所の交差点のその後を紹介する。



バイパスくさみ朽綱

国道10号と県道25号という交通量が多い2つの幹線道路が交わる「バイパス朽綱」交差点。平日朝7時は通勤ラッシュには直進車両が接近しているにも関わらず右折する車両が散見されていた。「SAFETY MAP」上には「右折車に注意」「スピードが出ているクルマが多い」などの投稿が寄せられていた。平成25年中に交通事故が17件発生して

おり、車両相互の追突や右直などの事故が起きていた。

平成27年1月の工事完了後から4月末までの間で右直事故は0件、追突などが4件発生している。平成26年7月の観察時に比べ、車両が非常にスムーズに交差点を通過していると感じられた。特に交通量が多い小倉方面からの右折車両と北九州空港からの直進車両は、矢印式信号と車線改修によって見通しが大幅に改善され、急ブレーキを踏むような状況は見られなかった。

●改善前



右折レーンを対向車線側に寄せ視認性を改善するとともに矢印式信号により直進と右折の車両を分離

●改善後



従来は車両の速度が高かったが、交差点の角をせり出すことで速度を抑制



直進が優先となるように車線を整理(改良前、直進車は左折レーンから直進レーンへの車線変更が必要だった)



直進と左折が併用だった歩道側の車線を左折専用にして渋滞を緩和



豊川橋北

名古屋と浜松を結ぶ豊川バイパスにある「豊川橋北」交差点。2013年6月に陸橋が開通して慢性的な渋滞が大幅に解消したが、直進レーンと右折レーンの停止線が接近していたため、右直事故が多発。「SAFETY MAP」上には「スピードが出ているクルマが多い」「見通しが悪い」などの投稿が寄せられていた。平成25年中に交通事故が17件発生、そのうち12件は右折時の衝突事故となっていた。

平成27年3月23日の工事完了から5月21日までの間で右折時の衝突事故、追突事故とも0件。矢印式信号の導入と、浜松方面からの右折レーンの停止線位置の変更によって、平成26年11月の観察時よりも安心して通行できる交差点という印象を受けた。実は改修工事によって渋滞が増加したため、平成27年4月に改良を実施。浜松方面からの右折レーンを2車線にすることで改善された。

●改善前



矢印式信号を導入して直進と右折の車両を分離

●改善後



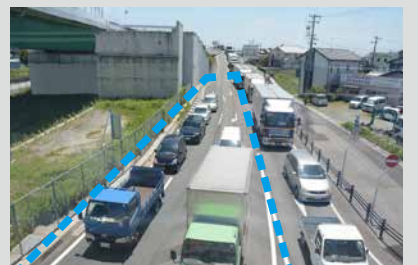
従来は右折車線の停止線は直進車線の直前に設置されていたが、後方に移動された



直進車両が完全に停止してから右折できるようになり、運転者が通行タイミングを見計らう必要がなくなった



1車線のみだった右折レーンは2車線となり、渋滞状況が改善



交通参加者が安全行動をとることはもちろんですが、事故が多発する交差点では道路改善が交通事故防止には有効だといえるでしょう。当紙では、今後も「SAFETY FOCUS」の連載を通じて道路改善について考えていきたいと思ます。



「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ

検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。